

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

申請日: 令和6年10月8日

①学校名:	秋田大学 大学院(国立)		②所在地:	秋田県秋田市本道一丁目1番1号	
③課程名:	医学系研究科看護師特定行為研修基本コース				
④正規課程／履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤定員:	10名程度(半期毎)	⑥期間:	6か月
⑦責任者:	大学院医学系研究科長 羽瀨 友則		⑧開設年月日:	令和7年4月1日	
⑨申請する課程の目的・概要:	目的:看護師が多様な臨床場面において知識・技術・態度の基礎的能力を身につけ、医師からの手順書による指示を基に特定行為の実施判断、実施、報告の一連の流れを適切に行うための実践能力を身につけるとともに、医療環境や医療技術の急速な変化・発展に対応できる高い倫理性と柔軟な適応能力を備え、保健医療の中核を担える専門家を育成し、人々の健康と福祉に広く貢献することを目的とする。 概要:周術期、急性期、慢性期、在宅療養の各診療や療養の場で活躍するために必要な科目を配置し、高い専門性と優れた看護実践能力を持つ高度実践看護師を養成する。医療・介護・福祉の提供者の視点から、患者・家族への安心かつ安全に援助を提供するシステムの要となりうる医療者を育成する教育を行う。				
⑩10テーマへの該当	1 女性活躍	3 中小企業活性化	5 環境保全	7 医療介護 ○	9 起業
	2 地方創生	4 DX	6 就労支援	8 ビジネス等	10 防災危機管理
⑪履修資格:	1) 日本国内における看護師免許を有し、大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力を有すると認められた者 2) 看護師の資格取得後、通算3年以上の実務経験を有していること				
⑫対象とする職業の種類:	看護師				
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) ・医学的根拠、データから論理的な臨床推論を行うための知識・技術。 ・臨床推論に基づいて、処置のリスクを理解して、必要な対処を提案し、実施あるいは専門職(医師)などに支援を受けて迅速な対処を実践するための知識・技術。 ・治療・療養に関わらず、倫理的配慮を行ないながら、さらにその場の移行を念頭に置いた対処を行うために必要な知識・技術。 (得られる能力) ・患者の病態・生活背景・価値観に基づいたアセスメントを行う能力(包括的健康アセスメント能力、熟練した看護実践能力)。 ・医学的根拠、データから論理的な臨床推論を行うための医療処置・管理の実践能力、熟練した看護実践能力 ・看護マネジメント能力 ・倫理的意思決定能力 ・問題解決に向けて多職種と効果的に協働する能力(チームワーク・協働能力)。				
⑭教育課程:	本コースの必修科目のフィジカルアセスメントでは、データから論理的な臨床推論を行うための医療処置・管理の実践能力、熟練した看護実践能力を育成する。臨床推論を置き、処置のリスクを理解して、必要な対処を提案し、実施あるいは専門職(医師)などに支援を受けて迅速な対処を実践するための知識・技術を修得させる。特定行為実践では、問題解決に向けて多職種と効果的に協働する能力を育成するために、課題解決型学修、ロールプレイなどのアクティブ・ラーニングを取り入れている。				
⑮修了要件(修了授業時数等):	定められた期間内にプログラムが定める全ての授業科目を履修し全14単位(250時間)を取得すること。				
⑯修了時に付与される学位・資格等:	修了要件を満たした者には「看護師特定行為研修基本コース」の修了認定書(履修証明書)が授与される。				
⑰総授業時数:	14	単位	⑱要件該当授業時数:	14	単位
			⑲要件該当授業時数／総授業時数:	100	%
⑳該当要件	企業等	双方向	○	実務家	○
	実地				
㉑成績評価の方法:	成績評価は、プレゼンテーションやディスカッション、演習や課題レポート、筆記試験など各科目で設定された方法により行う。				

②①自己点検・評価の方法:	秋田大学では、学校教育法第109条第1項に基づき、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の大学機関別認証評価を受けている。また、各事業年度の業務実績について評価・報告を行っており、当該検証・評価結果については本学ホームページにおいて公表する。
②②修了者の状況に係る効果検証の方法:	修了者を対象にアンケートを実施する。その結果を集計・検討し、特定行為研修管理委員会において本プログラムの成果や評価を行う。
②③企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 実習者の特定行為が問題なく行われるように、実習計画の確認、実習の進捗状況、実習の成果及び評価について施設間の情報共有を図るため定期的に会議を開催する。
	(自己点検・評価) 特定行為研修が効果的に実施できるように連携するとともに、特定行為研修の進捗や実施状況を把握するために特定行為研修管理委員会を定期的に開催する。また、各区分の特定行為研修の評価を行い改善につなげていく。
②④社会人が受講しやすい工夫:	授業は社会人が受講しやすいように夜間や土曜日開講しているほか、WebClassやZoom、オンデマンド授業等多様なメディアを利用している。
②⑤ホームページ:	(URL) http://www.med.akita-u.ac.jp/hoken/